

教員・授業・勉強・研究について

授業への興味..... 4

授業に関心のある学生は早稲田好き

授業に興味が「ある」「ややある」学部学生 88.8%、大学院学生 91.2%

授業出席率..... 6

過半数の学生は9割以上の出席率

出席率「90～100%」学部学生 55.0%、大学院学生 68.4%

教員との対話..... 7

学部学生の4割弱しか教員と対話していない

教員と対話を「している」「たまにしている」学部学生 37.3%、大学院学生 82.8%

授業の満足度..... 8

授業の満足度は高くない

満足できる授業の割合が「80～100%」学部学生 7.9%、大学院学生 27.4%

授業選択の要素..... 10

授業選択の主たる要素はやっぱり講義内容

出席率の低い学生にとって重要な要素は、
講義内容と並んで「出席チェックの有無」「単位取得の難易」

授業以外にする研究・勉強時間..... 12

授業以外の勉強は…あまりしていない

週平均「0～5時間未満」学部学生 47.1%、大学院学生 14.1%

図書館等の利用..... 13

図書館の利用頻度は高くない

「ほぼ毎日」学部学生 9.1%、大学院学生 9.6%

「週に2～3日」学部学生 33.8%、大学院学生 25.3%

将来への有用性..... 14

勉強が将来役立つと考える学生は比較的多い

勉強が将来役立つと「思う」「やや思う」学部学生 74.9%、大学院学生 89.1%





授業に関心のある学生は 早稲田好き

授業への興味

POINT

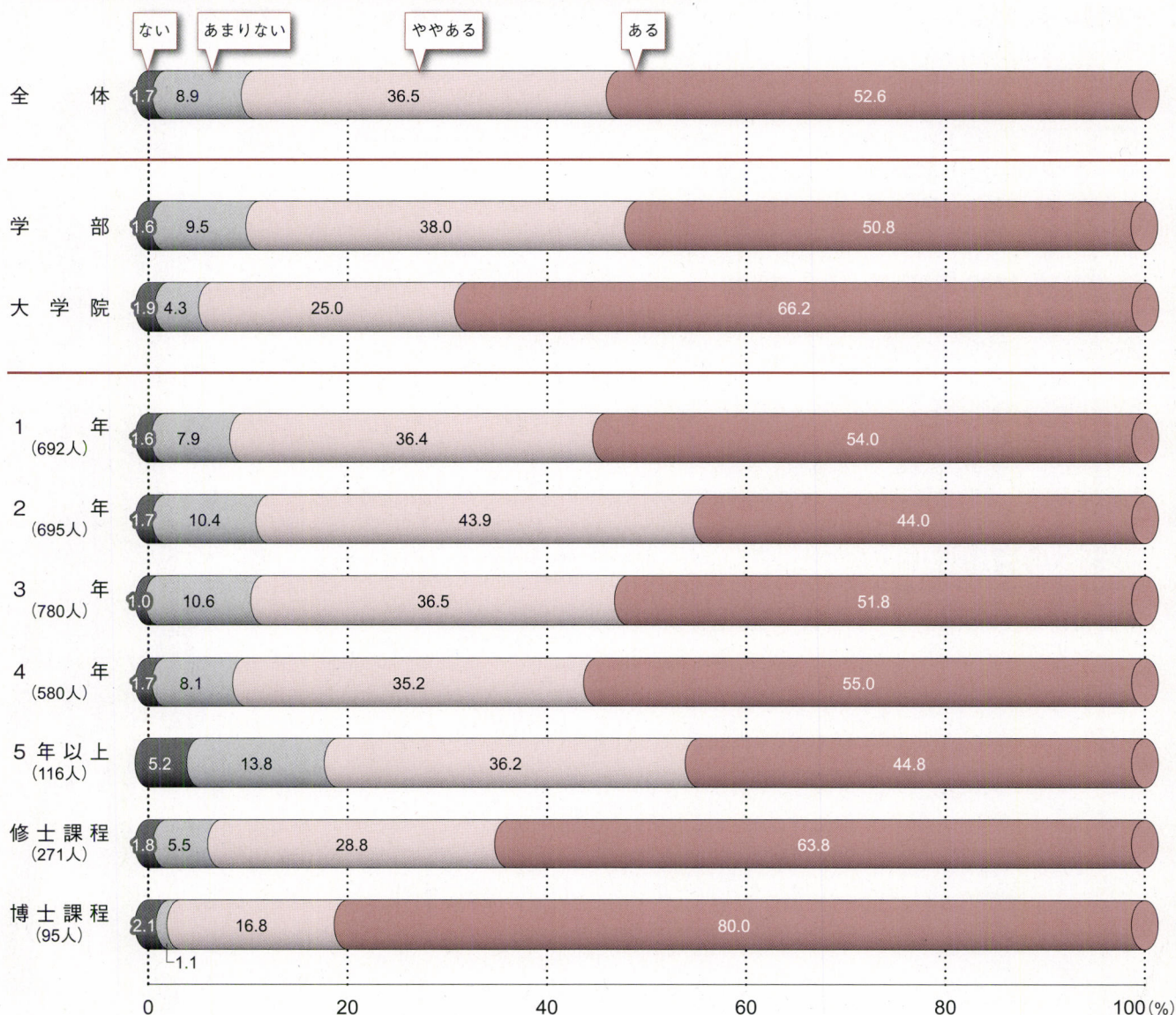
授業に興味がある「ある」「ややある」

学部学生 **88.8%**、大学院学生 **91.2%**

回答のあった学生のうち約9割が授業に興味がある「ある」「ややある」と回答しています。学部学生では88.8%、大学院学生では91.2%もの高い割合で、これはここ数年、変わらない傾向ですが、積極的に授業に興味がある「ある」と回答した割合の全体平均値（52.6%）に比べ、目立ってこの数値が低いのが学部学生の2年生です。授業以外のことに関心がいきがちな学年なのか、あるいは、各

学部のカリキュラム上、2年生を惹きつけられないかがあるのか、専門教育が一定の積み重ねの上になり立つものならば、対策を考えてみる必要があります（次項「授業出席率」も参照して下さい）。グラフには掲げていませんが、男女別では、興味がある「ある」と回答した男性が48.3%しかいないのに比べ、女性の58.6%は積極的に興味がある「ある」と回答しています。

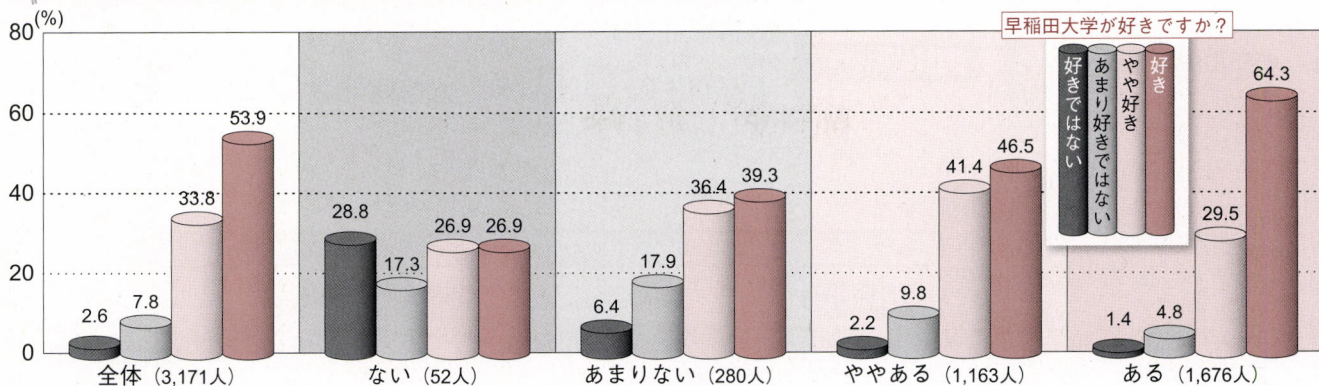
大学の授業に興味がありますか？ 学部・大学院別／学年別



これもここ数年変化のない傾向ですが、授業へ興味があると回答した学生ほど早稲田大学が好き

と回答しており、早稲田への愛着と授業への興味には相関がみられます。

クロス集計 早稲田大学が好きですか／凡例 授業に興味がありますか。

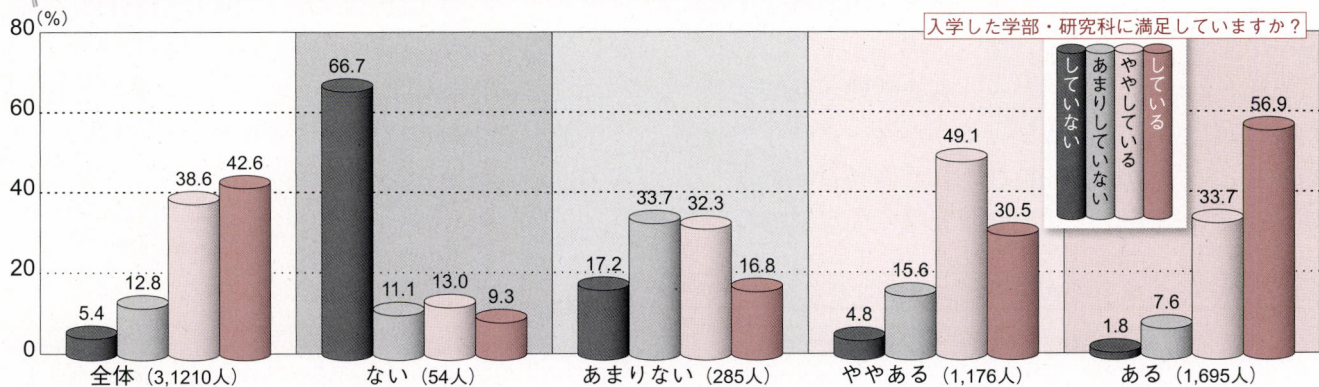


同様に授業への興味と相関を示しているのが、所属学部・研究科の満足度と大学生活の充実度で、授業へ興味がある学生ほど、入学した学部・研究科に「満足している」と回答した割合が高く、さらにまた大学生活が「充実している」と回答した割合が高くなっています。

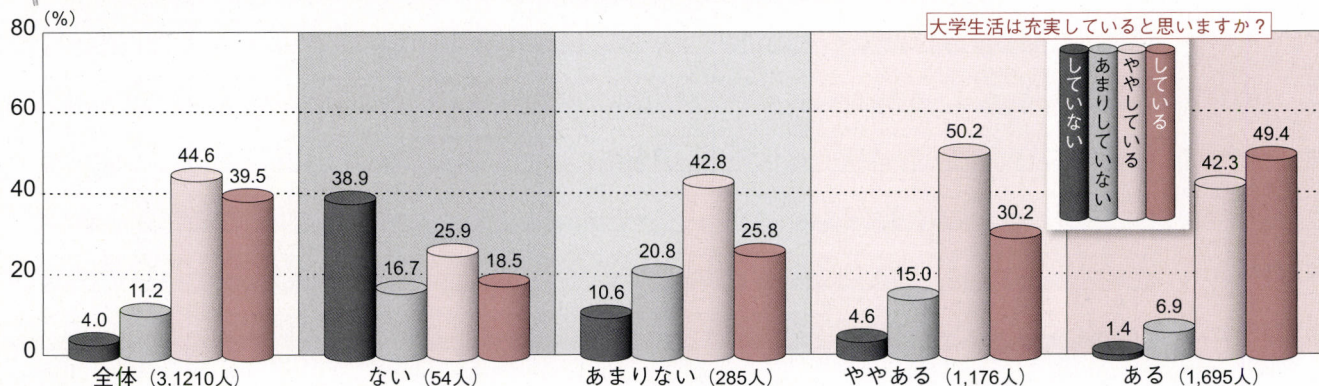
「授業への興味」と、「早稲田大学が好き」「所属学部・研究科に満足」「大学生活が充実」との間のこうした相関関係は、学生にとって大学生活の中心的位置を占めるべき「授業」の重要性を再

認識させるものでしょう。グラフには示していませんが、「授業の出席率」と「授業への興味」にももちろん相関があり、また授業に興味があると回答した学生ほど、「早稲田大学を選んだ理由」で「教授陣」「教育研究内容・レベル」と答えた割合が高いことからすると、教員の側も学生の期待通り学生を惹きつける良い授業を提供し、かつ高いレベルの研究を維持する努力を怠らない、という高い要求がなされているといえそうです。

クロス集計 入学した学部・研究科に満足していますか／凡例 授業に興味がありますか。



クロス集計 大学生活は充実していると思いますか／凡例 授業に興味がありますか。





過半数の学生は 9割以上の出席率

授業出席率

POINT

出席率「90~100%」

学部学生**55.0%**、大学院学生**68.4%**

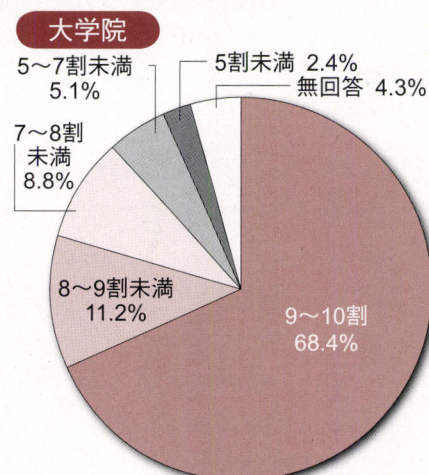
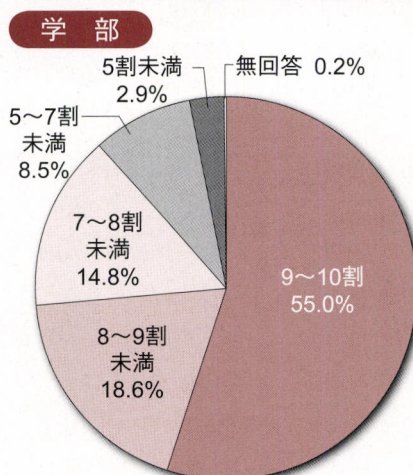
出席率が90%以上の学生が全体として5割（56.9%）を超えていますが、残念ながらこの割合は、学部学生・大学院学生とも昨年度より低下しています（学部学生：昨年度58.5%、大学院学生：昨年度74.4%）。実は、同じ傾向が、積極的に授業に興味がある「ある」と回答した割合にもみられており（学部学生：昨年度54.2%→本年度50.8%、大学院学

生：昨年度73.4%→本年度66.2%）、授業に積極的な学生が減っているようにもみえ、一過性のものか、やや注意が必要です。

学部学生では学年が上がるほど、出席率が下がっています。

原因としては、アンケート調査時期が就職活動や資格試験の時期と重なっていたり、高学年では出席をとる語学教養科目ないし必修科目が減ったり、あるいはまた、ゼミや研究室での専門的な科

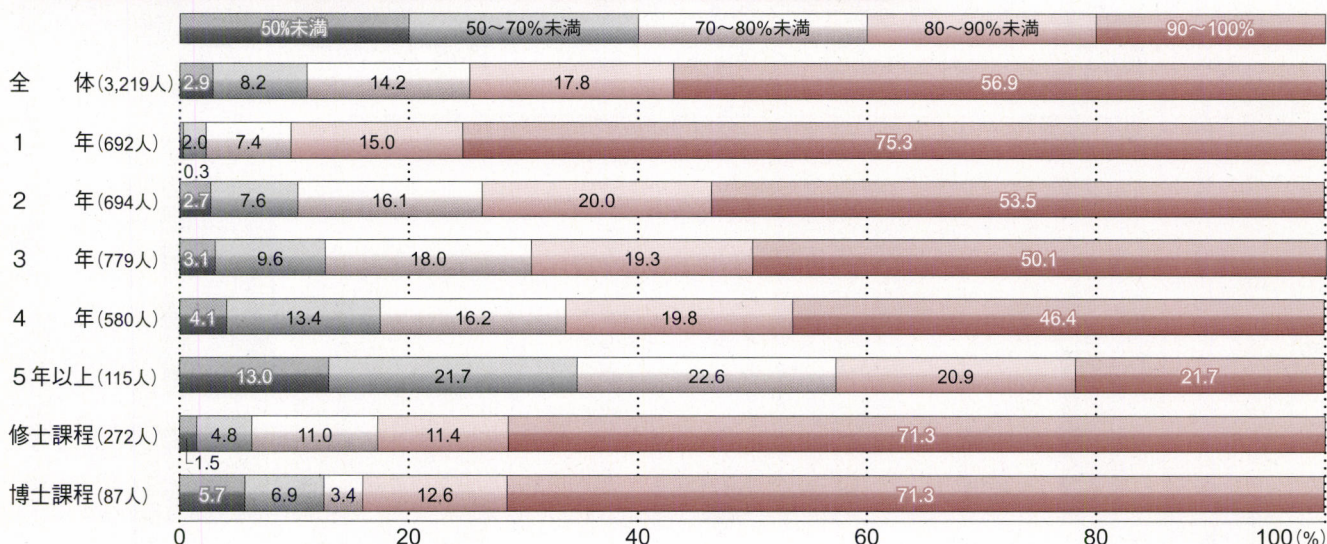
あなたのこれまでの授業平均出席率はどれくらいありますか？



目を軸として必要性が高い授業を中心に受講していたり、といった点が考えられます。

出席率の大きな低下が見られるのは、1年生から2年生にかけてです。前項でも見たとおり、単純に授業への関心の低下、または授業以外の事柄への関心の増加が考えられます。この時期に出席率の低い学生は、一般的に留年や退学の確率が高まるため、注意が必要です。

あなたのこれまでの授業平均出席率はどれくらいありますか？ 学年別





学部学生の4割弱しか 教員と対話していない

教員との対話

POINT

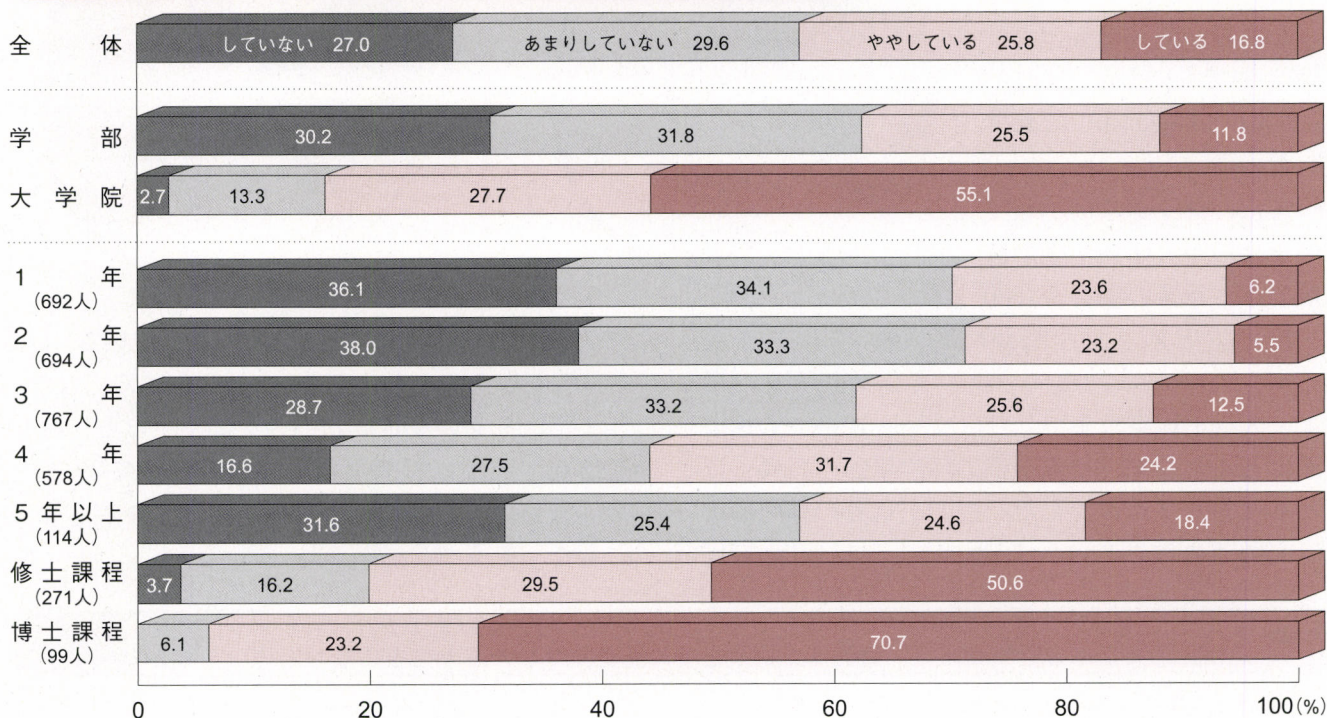
教員と対話を「している」「たまにしている」

学部学生 **37.3%**、大学院学生 **82.8%**

短時間でも教員と対話を「している」と回答したのは、全体では16.8%ですが、学部学生では11.8%、指導教員との関係が密になる大学院学生では55.1%、と大きく差があります。特に、学部

学生では、1年生6.2%と2年生5.5%（「たまにしている」を含めても、各々29.8%、28.7%）が目立って低い回答割合です。

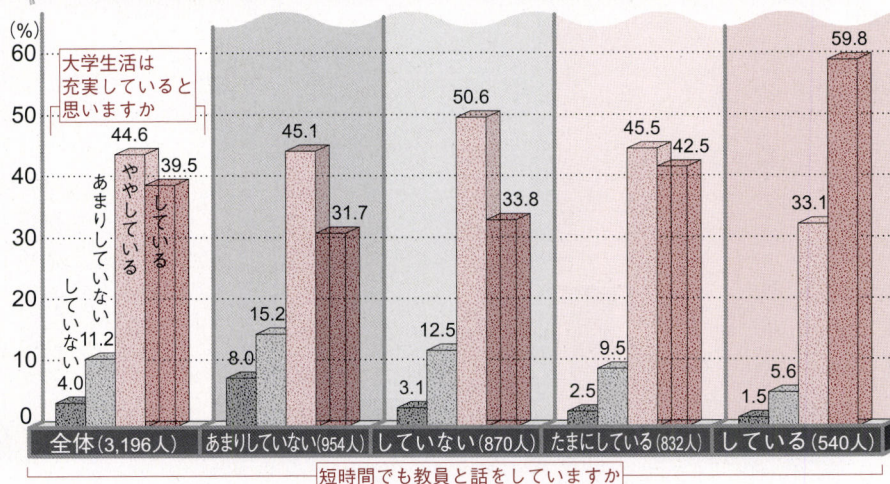
短時間でも教員と話をしていますか？ 学部・大学院別／学年別



教員と対話をしている学生ほど大学生活が充実していると回答する割合が高くなっており、またグラフには示していませんが、教員と対話をしている学生ほど、入学した学部・研究科に満足していると回答し、また、授業に興味があると回答していました。授業への関心の喚起、所属学部への満足度、大学生活への充実度を高める一つのキーは、教員との対話にあるのかもしれません。

クロス
集計

短時間でも教員と話をしていますか？ 凡例 大学生生活は充実していると思いますか





授業の満足度は高くない

授業の満足度

POINT

満足できる授業の割合が「80~100%」

学部学生 **7.9%**、大学院学生 **27.4%**

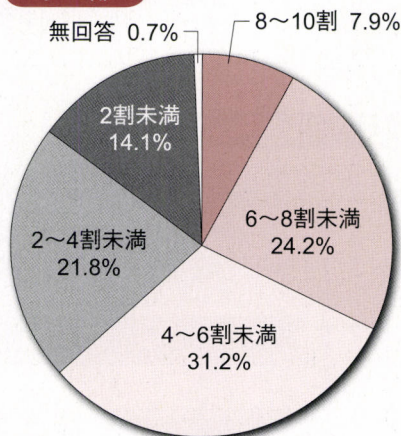
授業への興味に比べ、実際の授業のうち満足できるものの割合は、残念ながら高くないようです。満足できる授業の割合が「80~100%」と「60~80%」とした回答を併せても、大学院学生でも55.1%、学部学生では32.1%という結果でした。

また、グラフには示していませんが、学部学生で満足できる授業の割合が「80

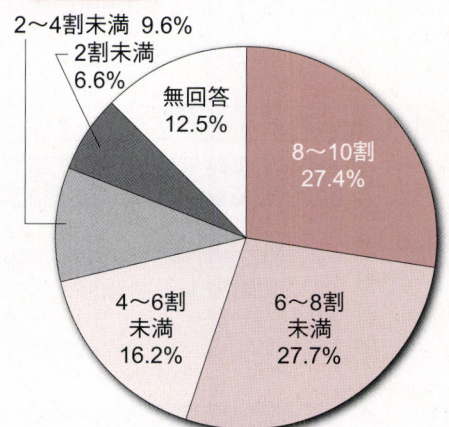
~100%」と回答した割合の平均値（7.9%）を超えていた学部は、法・一文・文化構想・文・理工・人科・国際教養でした。文系・理系でも違いがほとんどなく、学部学生では学年別の差異もほとんどありませんでした。授業が自分の専門的な研究関連に絞られる大学院の博士課程学生では、

今あなたが取っている授業の中で満足するものはどれくらいありますか？

学部



大学院



55.7%が「80~100%」の授業に満足している（「60~80%」も含めると、77.2%）という回答でした。

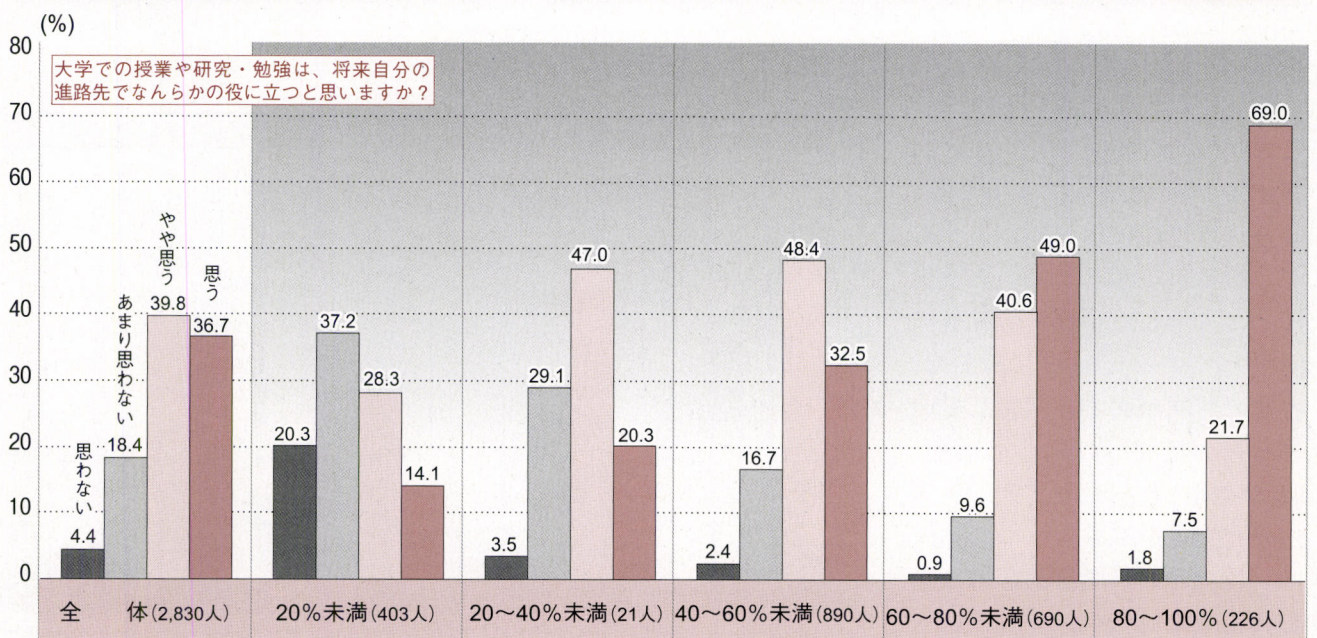
また、授業の満足度が高い学部学生ほど、授業や研究・勉強は将来役に立つと回答しています。良い授業は、学生の将来への意欲につながることもなりそうです。

クロス集計

今あなたが取っている授業の中で満足するものはどれくらいありますか？

凡例 大学での授業や研究・勉強は、将来自分の進路先でなんらかの役に立つと思いますか

学部



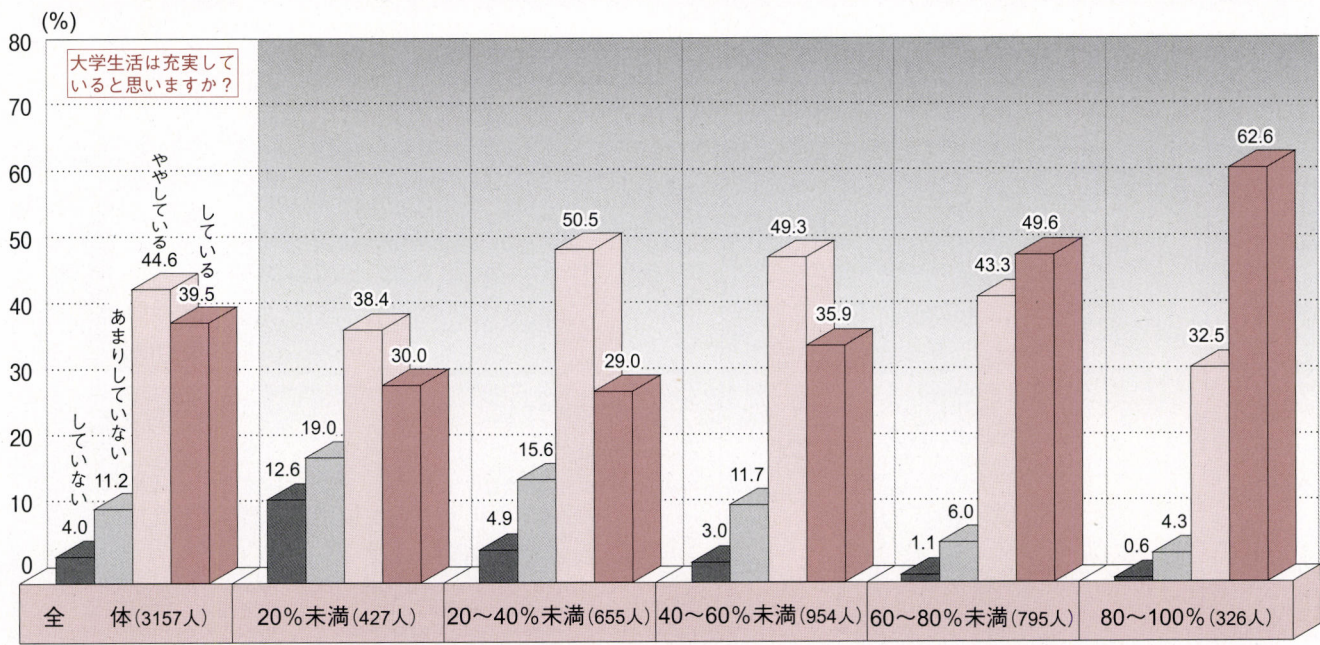
さらに、満足できる授業の割合が高いほど、大学生活の充実度が高く、そして、入学した学部・研究科への満足度が高くなっています。ここでもまた、良い授業を提供することの重要性が示唆されています。

たしかに学生の理解力や科目内容の難易にも差があることは事実ですし、卒業に必要な単位を取るためにいやいや選択されている科目で、満足度を高めるのは、あまり容易なことではないでしょう。少なくとも授業選択の際に学生の期待と実際

の授業内容にミスマッチが生じないように、教員は充実したシラバスを作成し、学生の側もきちんとこれを読む、といった基本的なことを改めて確認すべきでしょう。他面、教員の教え方に上手・下手があるのもまた事実であり、授業評価を活用しながら、問題点の洗い出しと改善になおいっそう取り組む必要があると言えます。そのためにも、学生の皆さんには、授業評価で建設的な意見を積極的に述べてほしいと思います。

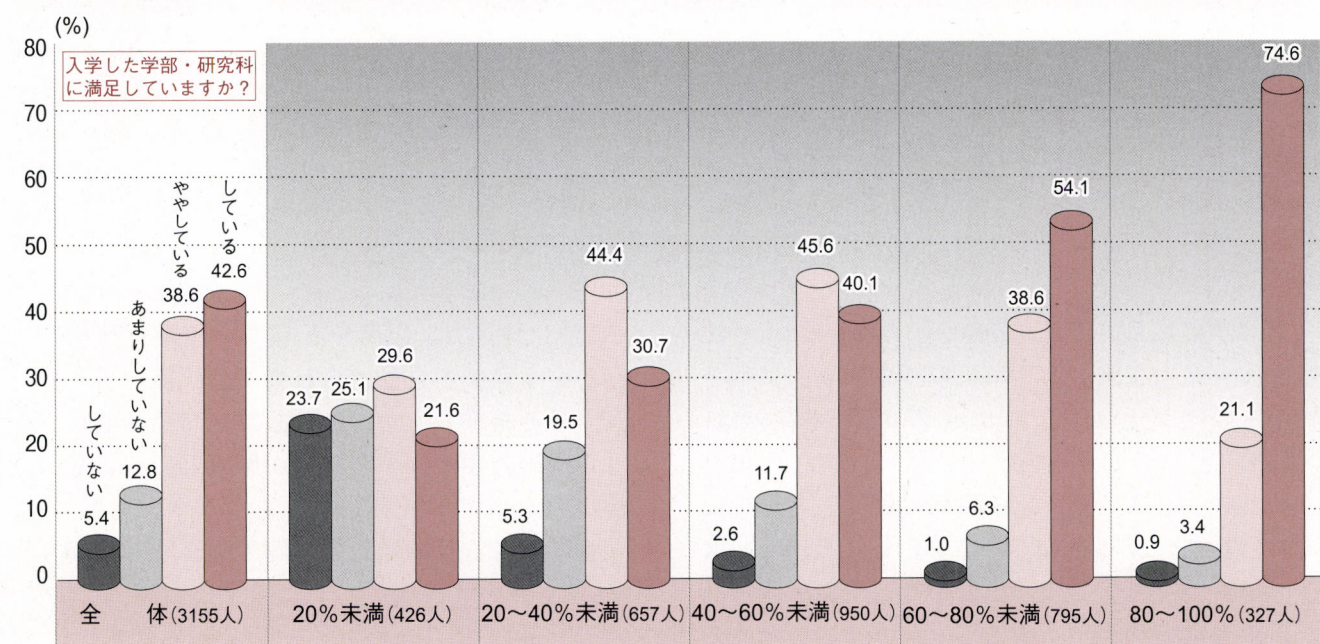
クロス集計 今あなたが取っている授業の中で満足するものはどれくらいありますか？

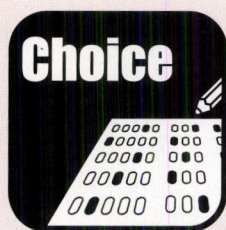
凡例 大学生生活は充実していると思いますか？



クロス集計 今あなたが取っている授業の中で満足するものはどれくらいありますか？

凡例 入学した学部・研究科に満足していますか？





授業選択の主たる要素は やっぱり講義内容

授業選択の要素

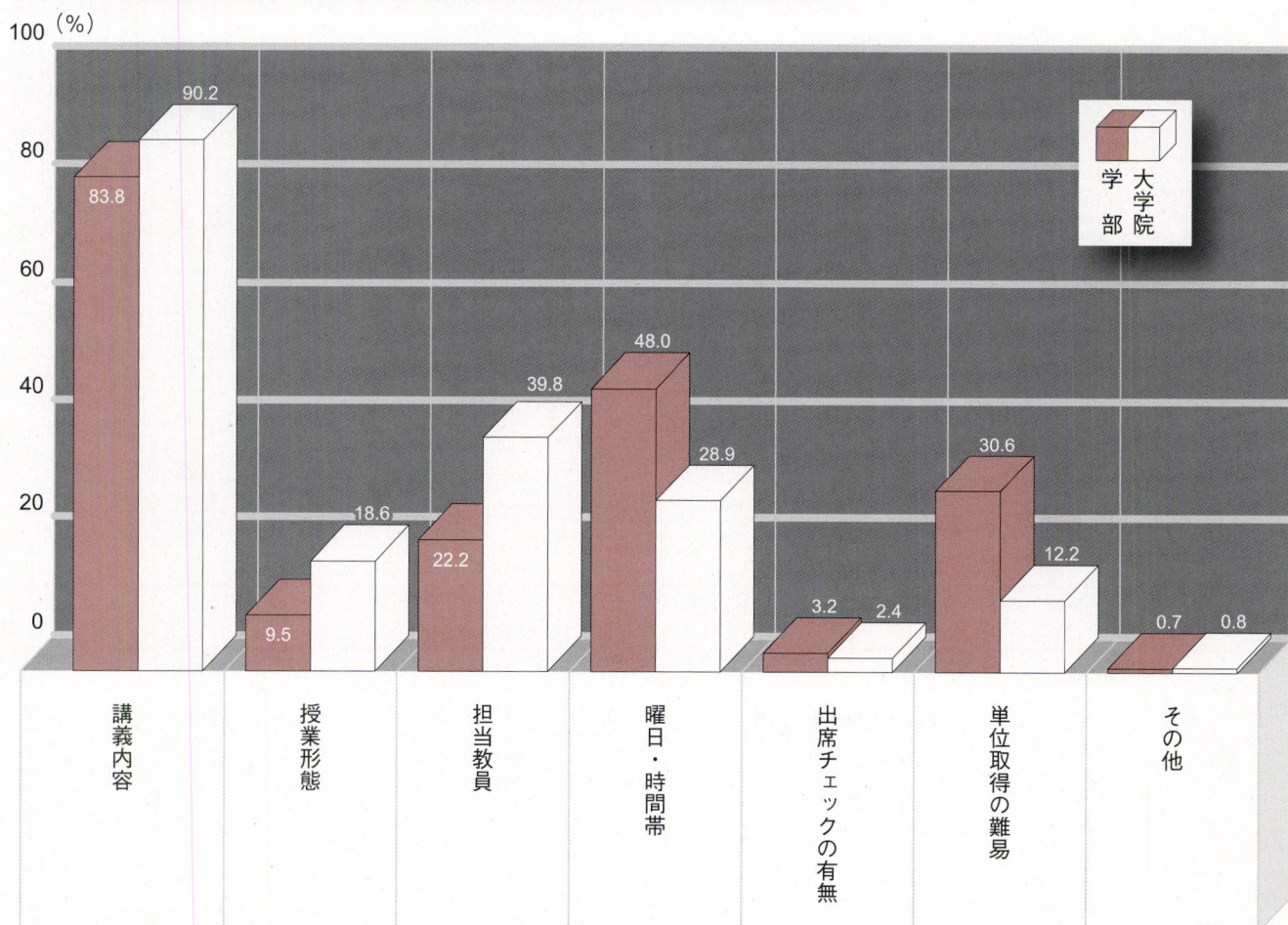
POINT

出席率の低い学生にとって重要な要素は、講義内容と並んで「出席チェックの有無」「単位取得の難易」

授業選択の際に重視する要素としては、学部学生全体では、「講義内容」(83.8%)、「曜日・時間帯」(48.0%)、「単位取得の難易」(30.6%)が上位3要素ですが、指導教員との関係が密になる大学

院学生では、「講義内容」(90.2%)の次は、「担当教員」(39.8%)、そして「曜日・時間帯」(28.9%)となります。例年と同じ傾向です。いずれにしても授業選択の最重要基準は、「講義内容」です。

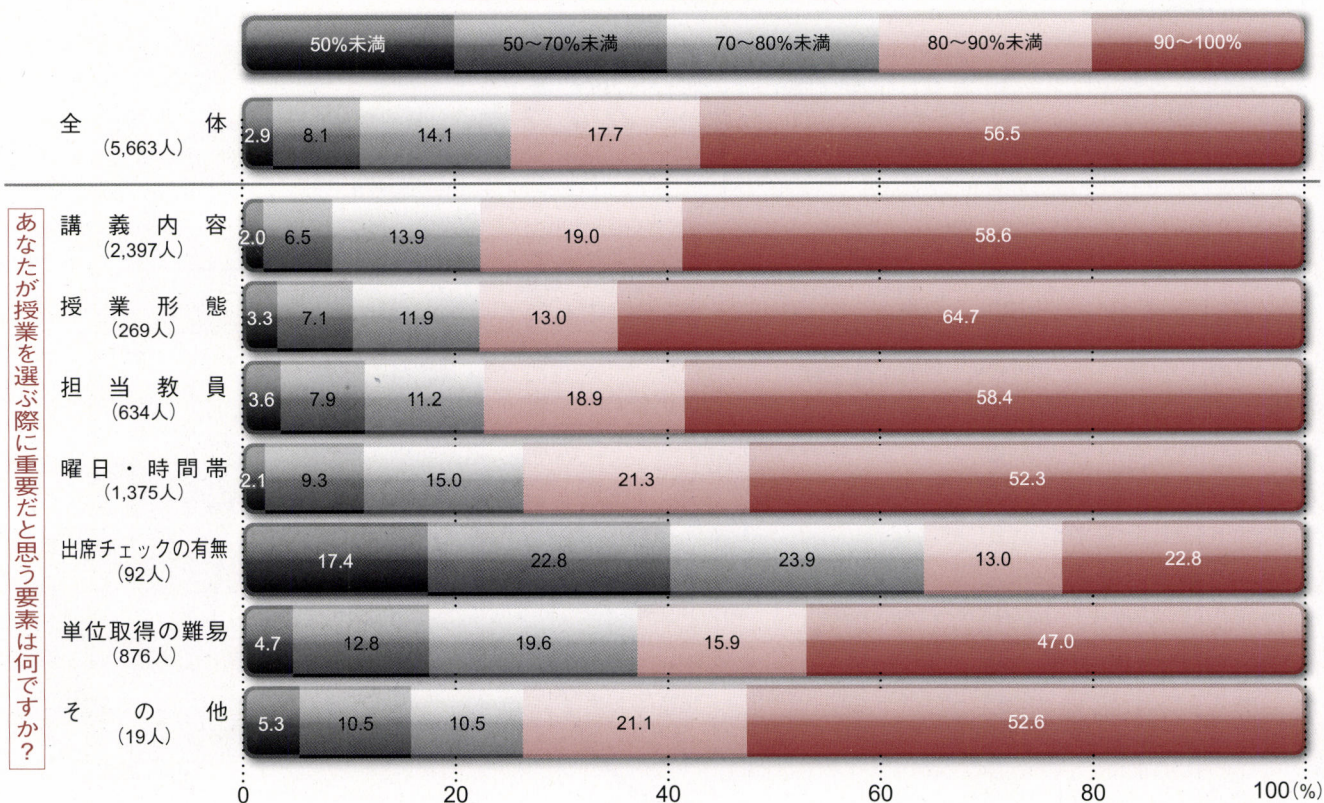
あなたが授業を選ぶ際に重要だと思う要素は何ですか？ [複数回答可]



学部学生においては、出席率との関係では、「出席チェックの有無」と「単位取得の難易」に他と異なる傾向が見られます。出席率の低い学生では、「講義内容」の回答割合が相対的に減り、「出席チェックの有無」や「単位取得の難易」という要素の回答割合が増加しています。とりわけ「出席チェックの有無」では、出席率70%未満と回答した学生の回答割合が4割にのぼります。いわゆる

「楽勝」科目で、出席をとらない授業を選択しようという意図が見受けられます。正直と言えば正直すぎる結果ですが、こうした出席率の低い学生は、授業内容のつまらなさが原因というより、最初から出席する気がない学生のようにも思われ、大学に対する目的意識の問題も浮き彫りになります。

あなたのこれまでの授業平均出席率はどれくらいですか？



コラム

授業選択のポイントは、やはり内容重視！

06年から今年度の調査結果も一目瞭然、「講義の内容」を重視しているという回答が常に80%台（06年85.1%、07年85.3%、今年度84.6%）を占めています。

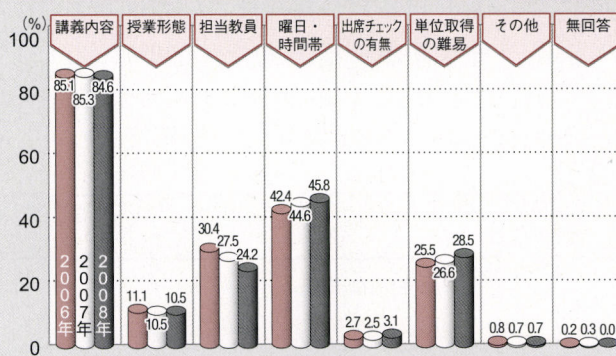
しかし、授業の満足度が80%以上と回答しているのは、06年10.5%、07年12.6%、今年度10.1%となっています。

講義の内容を確認する方法として、Web上で提供されている「シラバス検索システム」を活用するのもいいでしょう。シラバス検索システムでは、「科目名」「教員名」「キーワード」などを入力することで、興味のある科目の内容を参照できます。ぜひ、活用してみてください。

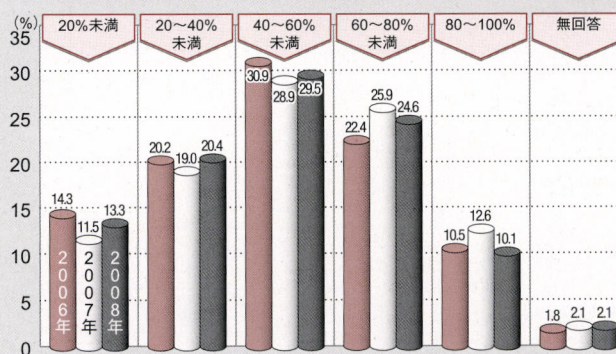
【シラバス検索システム】

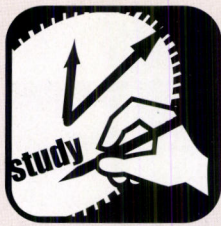
早稲田大学トップページ (<http://www.waseda.jp/top/index-j.html>) → 「在学生の方」 → 「シラバスシステム」

あなたが授業を選ぶ際に重要だと思う要素は何ですか？ 経年変化



今あなたが取っている授業の中で満足するものはどれくらいありますか？ 経年変化





授業以外の勉強は... あまりしていない

授業以外にする
研究・勉強時間

POINT

週平均「0～5時間未満」

学部学生 **47.1%**、大学院学生 **14.1%**

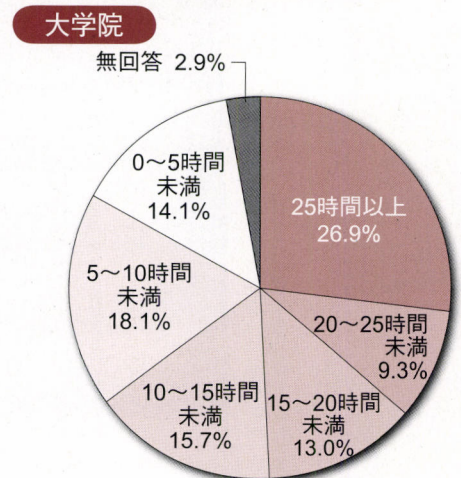
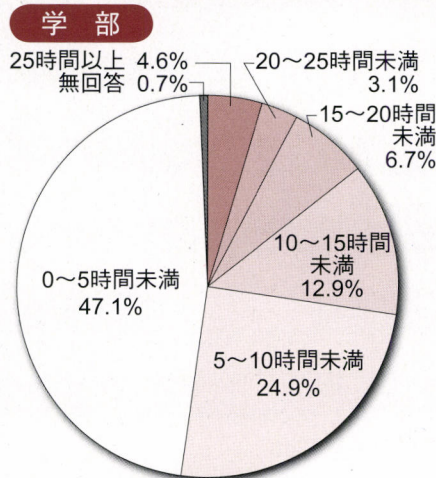
学部学生では、大学の授業以外にする研究・勉強時間の週平均を「0～5時間未満」「5～10時間未満」と回答した割合を合わせると72%にのぼり、7割以上の学生が1日あたり1時間かそこらの勉強時間しかとっていないようです。他方、大学院学生では、「0～5時間未満」「5～10時間未満」と回答した割合を合わせても32.2%で、反対に「25時間以上」と答えた比率は26.9%もあります（学部学生では4.6%）。

グラフには示していませんが、週平均で15時間以上勉強していると回答した割合は、一般学生では17.9%に過ぎませんが、留学生では46.3%にのぼります。実際に見知っている留学生を見る限り、日本語学習時間の分という差だけではないように

も思えます。

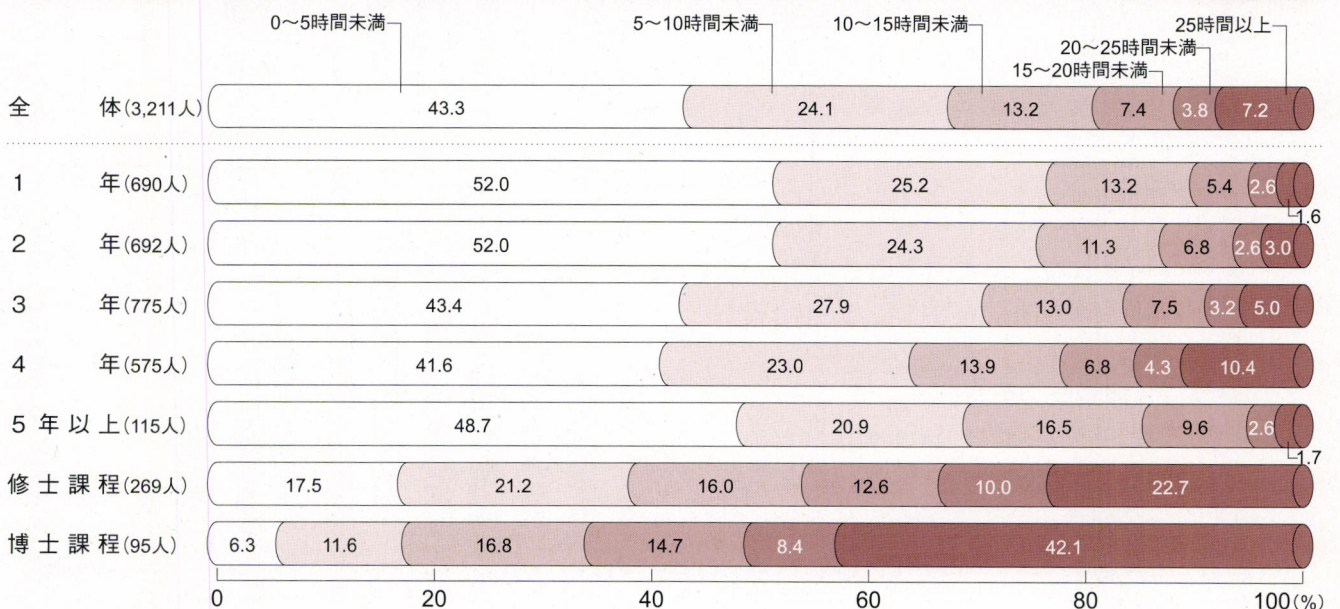
また学年別にみると、学年が上がれば、勉強時間もやや増える傾向にはありますが、「0～5時間未満」という回答の割合は常に4割以上です。大学院学生でも、研究・勉強時間をそれほどとっていない人たちが少なからずいるのは、驚きです。

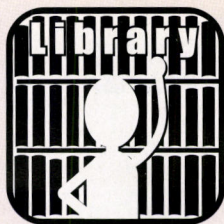
自宅・図書館・ダブルスクール等で行う、大学の授業以外にする研究・勉強時間は週平均でどれくらいですか？



自宅・図書館・ダブルスクール等で行う、大学の授業以外にする研究・勉強時間は週平均でどれくらいですか？

学年別





図書館の利用頻度は 高くない

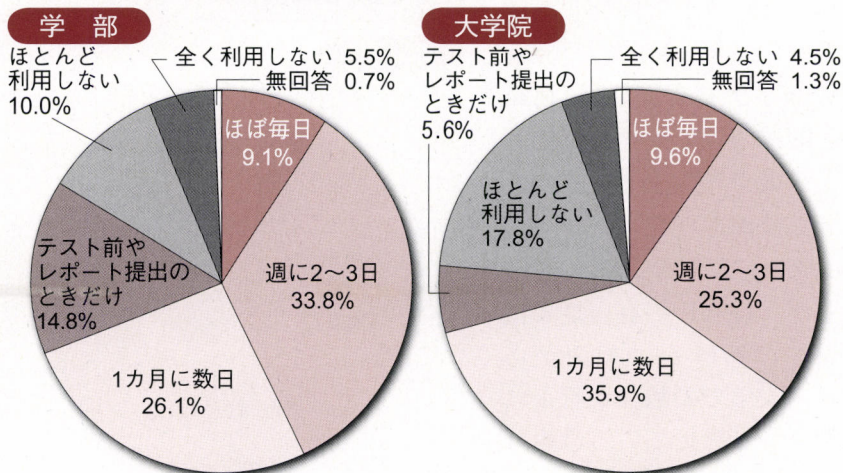
図書館等の利用

POINT

「ほぼ毎日」学部学生**9.1%**、大学院学生**9.6%**
「週に2~3日」学部学生**33.8%**、大学院学生**25.3%**

大学の図書館・学生読書室の利用に関して、「ほぼ毎日」「週に2~3日」と回答した割合は、学部学生で4割強、大学院学生で約35%で、あまり高い数字ではありません。大学院学生の方が頻度が減るのは、理系の学生では研究室のような自分の場所ができるからと考えられます。グラフには示していませんが、「ほぼ毎日」と答えた割合が際だって高い学部は、法・文の両学部で、文献を渉猟することが特に必要な学問の特質によるものと思われます。

大学の図書館・学生読書室をどの程度利用していますか



コラム

図書館を利用しよう 全蔵書数は520万冊！便利な利用方法も満載！

関連施設は中央図書館をはじめ、4つのキャンパス図書館や教員図書室、学生読書室、資料室等があり、全部で29箇所になります。膨大な情報源が所蔵されており、学内外の多様なニーズに対応しています。【URL】<http://www.wul.waseda.ac.jp/tujou.html>

■蔵書の検索 ~WINEを使いこなそう~ 【URL】<http://wine.wul.waseda.ac.jp/>

早稲田大学図書館の蔵書は、Web上の「学術情報検索システムWINE」で検索できる。

■図書館NAVIを活用しよう！ 【URL】<http://www.wul.waseda.ac.jp/CLIB/navi/index.html>

図書館Webサイトに中央図書館の施設・サービスを案内した「図書館NAVI：中央図書館編」が公開されている。館内ツアーがバーチャル体験できるので、興味のある人は、ぜひアクセスしよう。

■図書館クイックガイド 【URL】<http://www.wul.waseda.ac.jp/service/firsttime/index.html>

図書館Webサイトでは、新入生・初めて図書館を利用する方向けのクイックガイドを公開しています。図書館利用について分からないことがあれば、まずはこのページをチェックしてみよう。

■図書館携帯サイト 【URL】<http://www.wul.waseda.ac.jp/m/>

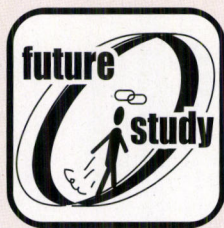
図書館携帯サイトでは、蔵書検索、休館日・開館時間の確認、貸出・予約の確認、貸出延長、予約ができます。また、気象警報発令にともなう臨時休館などについてもお知らせしている。詳しくは図書館携帯サイトを参照。

中央図書館と各キャンパス図書館サービス時間（授業期間中）

館名	所在 キャンパス	月曜日 ～金曜日	土曜日	日曜日	対象		
					学部学生	大学院学生	教職員
中央図書館	早稲田	9:00～22:00	9:00～22:00	10:00～17:00	○	○	○
高田早苗記念図書館	早稲田	9:00～22:00	9:00～22:00	休館	—	○	○
戸山図書館	戸山	9:00～22:00	9:00～22:00	休館	○	○	○
理工学図書館	大久保	9:30～21:00	9:30～19:00	休館	○	○	○
理工学学生読書室(52・53号館)書庫	大久保	9:30～21:00	9:30～19:00	休館	○	○	○
理工学学生読書室(52・53号館)閲覧室	大久保	9:00～21:00	9:00～19:00	休館	○	○	○
所沢図書館	所沢	9:00～21:00	9:00～18:00	休館	○	○	○

※利用の際には、利用者カード（学生証・教員証・図書カードなど）が必要。忘れた場合は入館できないので注意！

※中央図書館および各キャンパス図書館から借りた図書は、5館どこでも返却が可能。



勉強が将来役立つと考える 学生は比較的多い

将来への有用性

POINT

勉強が将来役立つと「思う」「やや思う」

学部学生 **74.9%**、大学院学生 **89.1%**

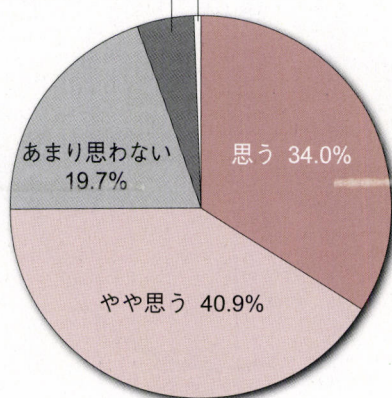
大学での勉強が将来役立つと「思う」と回答した学生は、全体で36.7%ですが、学部学生では34.0%、進路と関連づけて進学している大学院学生では57.7%と大きな差があります。

グラフには示していませんが、将来への有用性と授業への興味とは相関があり、大学での勉強が将来に役立つと考えている学生ほど、授業に興味があると回答しています。学年別では、学部学生では、入学直後の1年生で役立つと「思う」「やや思う」の割合は8割以上で、「思わない」と回答した学生は2%ほどなのですが、2年生以上では、やや消極回答の割合が増えます。進路と現在の研究を密接に関連させている大学院博士課程学生では、将来に役立つと「思わない」という回答は1%しかなく、「あまり思わない」という回答も4%だけでした。

大学での授業や研究・勉強は、来来自分の進路先でなんらかの役に立つと思いますか？

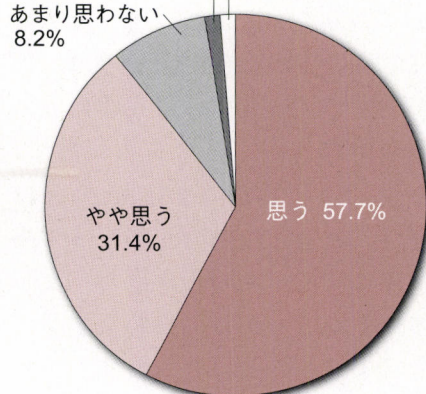
学部

思わない 4.8% 無回答 0.6%



大学院

思わない 1.3% 無回答 1.3%
あまり思わない 8.2%



一方、学部学生では、出席率の低い学生ほど、授業が将来役に立つとは思っていないという傾向があり、これは授業を受ける前から（あるいは、授業を一度二度受けただけで）役に立たないと決めつけて授業に出ないのか、授業を受けて不満足だった結果出席しないのか、いずれの原因も含まれていそうです。

クロス集計

大学での授業や研究・勉強は、来来自分の進路先でなんらかの役に立つと思いますか？

凡例 あなたのこれまでの授業平均出席率はどれくらいですか？

学部

